



〈こども版〉 としょかんだより No. 318

2011年

1月号

# わくわく本だな

富山市立図書館

## 今月のおすすめ



= 1・2年  
= 3・4年  
= 5・6年

—あたらしくはいった本の中から、おすすめの本をしょうかいします—

### 「あふりかのあかいみち」(えほん)

やました はるお / 作 教育画劇



クロアリのこどもが、ずっとつづくあかいみちのおわりを見にでかけます。とちゅう、オンブバッタやカメレオンたちのせなかのせてもらい、すすんでいくと、まっ黒なたいぐんがむこうからやってくるのが見えました。

### 「すずちゃん」

さえぐさ ひろこ / 作 佼成出版社



とべなくなったすずめをみつけたようちゃんは、世話をするにしました。“すずちゃん”と名前をつけ、パンをあげたり、とりかごにはっぱをひいたり毎日めんどろをみます。ようちゃんは、すずちゃんが元気になっても、外にはなしたくありません。

### 「やすしのすしや」

新井 けいこ / 作 文研出版



やすしは、カルビや焼き鳥がのったお寿司のある回転寿司が大好き。ある日、おじいちゃんが「本物の寿司を食べさせてやる」と、『桜寿司』に連れていってくれたんだ。お寿司はおいしかったんだけど、自分で食べたいものを選べないのは、ちょっとつまらない。

# あたらしくはいった本

## えほん

「コウノトリのおはなし - えんとつのうえの車輪<sup>しゃりん</sup> - 」(えほん)  
マーガレット・ワイズ・ブラウン / 作 長崎出版

ハンガリーの国に春がきました。コウノトリのお父さんとお母さんは、えんとつの上に巣をつくり、卵をうんでヒナを育てます。成長した子どもたちは、秋になると、あたたかなアフリカへと旅立ちます。「しあわせをはこぶ鳥」として、ヨーロッパの人々に愛されているコウノトリの1年を描いた美しい絵本です。



## ものがたい

「ブンタとタロキチ」 丘 修三 / 作 文研出版



キツネのブンタとタヌキのタロキチは、ともだちです。でも、いつもなかよしというわけではありません。いっしょにとったサワガニのわけっこや、うそのいいあいっこ、あなほりきょうそうをしてはけんかをします。ゆうきをもって、なかなかおりできるかな。



## ことばであそぼう！

### せかいのあいさつ

あいさつは、人と人を結びつける大切なことばです。世界にはいろいろなあいさつのことばがあります。みんなも、声にだして言ってみよう！

「おはよう」

アンニョハセヨ (韓国語) ポンジュール (フランス語) ジャンボ (スワヒリ語)

「ありがとう」

サンキュー (英語) シエシエ (中国語) グラッツィエ (イタリア語)

「いろんな国・いろんなことば こんにちは・おはよう」(ポプラ社)

「世界のことばあそび いろんなことばであいさつしよう！」(旺文社)より

## ものがたり

### 「カエデ騎士団と月の精」

リーッカ・ヤンッティ / 作 評論社



台所のリフォームをしていた、リスとハリネズミとネズミは、オープンの奥にかくされていた書類を見つけ、さっそく調べ始めます。3匹はカエデ騎士団を結成し、村のヒーリヴオリ伝説の王冠が、盗賊団にうばわれないよう守ることにしました。

### 「おコン草子」

齊藤 飛鳥 / 作 童心社

キツネと人の間に生まれた女の子おコンは、長者の息子弥兵の命を救うため、イラズ山の頂上のなら梨をとりに向かいます。しかし、イラズ山は、大グモや大ムカデ、鬼などの化け物がいるおそろしい山。おコンは、謎の青年小綱に助けられ頂上を目指します。次々に襲ってくる化け物たち。おコンは無事にもどってこられるでしょうか？



### 「ほこりまみれの兄弟」

ローズマリー・サトクリフ / 作 評論社



孤児の少年ヒューは、愛犬のアルゴスを連れて意地悪なおばさんの家から逃げ出し、学問の都オックスフォードを目指します。ところが、途中で旅芸人の一座に出会い、芝居の楽しさを知ります。愉快的仲間たちと旅をしていたヒューは、ある日、父の知りあいという紳士に出会いました。

## ちしきの本

### 「エコカーのしくみ見学2 電気自動車」

市川 克彦 / 作 ほるぷ出版

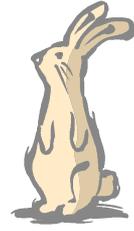
今、電気でモーターを動かして走る電気自動車が注目されています。ガソリン車が出していた、排気ガスや二酸化炭素、騒音、熱を出さない地球環境にやさしい車です。開発が急ピッチに進むエコカーのしくみや、どうやって動くのかを写真や図を使い紹介します。





名作をよもう!

今月の1さつ



「ピーターラビットのおはなし」 (えほん)

ビアトリクス・ポター / 作・絵 福音館書店

大きなもみの木の下に、4匹の子うさぎとお母さんが住んでいました。ある日、お母さんが「マグレガーさんの畑には、ぜったい行っちゃだめよ」と言って、買い物に出かけました。でも、いたずらっ子のピーターだけは、畑にしのびこみ、野菜をおなかいっぱい食べます。ところが、マグレガーさんに見つかってしまいました。ピーターは、にげまわって、命からがら家にたどりつきません。子どもの手におさまる小さいサイズの絵本です。



## とやまし あ・れ・こ・わ

つちにんぎょう  
とやま土人形

“とやま土人形”は富山の伝統民芸品の一つです。  
江戸末期に、富山藩のお殿様にさしあげたのが  
はじまりといわれています。



富山民俗民芸村の「とやま土人形工房」では、干支の置きものや、おひな様、薬売りの人形などが展示されています。どの作品も、愛らしく素朴であたたかみがあります。

また、白い素焼きの土人形に絵付けができる体験コーナーもあります。世界に一つだけの土人形を作ってみませんか。



今年もたくさんの本を  
読んでね!



< 編集・発行 >

富山市立図書館

富山市丸の内1丁目4-50

電話 076-432-7272